

ワクワク通信

お客様とイバセキを結ぶホットライン



11月号 2025

発行元：茨石商事株式会社

TEL: 0299-24-2680

http://www.ibaseki.com

Ytol (わいとあい)

DONUT SHOP



石岡市ばらき台団地の近く、カワチ薬品さんと駐車場をほぼ共用しているやまうちテナントに本当に美味しいドーナツ屋さん「YtoI」(わいとあい)がオープンしました！豊富な種類と高級感のある爽やかな甘みで大人気のお店で、売り切れてしまう為、お昼くらいまでの早めの時間に行ってみました！

オールドスタイルのドーナツも様々なフレーバーがありラズベリーなどフルーツのトッピングも女子に大人気とのこと！食べた中で私のお勧めは、クリームドーナツ(ホイップ)です。握りこぶし大の球形のドーナツに上品な甘さのホイップクリームがぎゅーっと詰まっています、食べ応えのあるモチモチとした生地も相まって「食事」かと思う満足感です！チョコクッキー入りやモンブランタイプのドーナツも美味しいですが、シンプルズベスト！私のナンバーワンを是非ご賞味頂きたいと思います！



豊富なメニュー！

プレゼント企画



オススメ！
クリームドーナツ！

「YtoI」で1,000円分の賞品と交換できるチケットを抽選で10名様にプレゼント！イバセキまで官製ハガキにてご応募ください！

プレゼント企画

応募先：茨石商事株式会社
315-0013
石岡市府中2-3-19
締切り：2025年11月30日
当選：発送をもって



お待ちしております！

Ytol



わいとあい

石岡市茨城1-4-35

やまうちテナント内

(カワチ薬品の向いの建物)

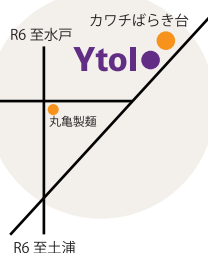
☎ 090-4663-3229

【OPEN】

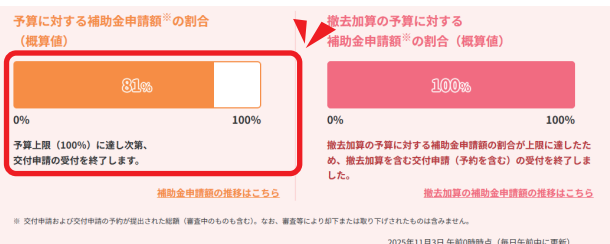
10:00 ~ 18:00

定休日：月、火

Instagram



給湯省エネの補助金が上限に近づいています！

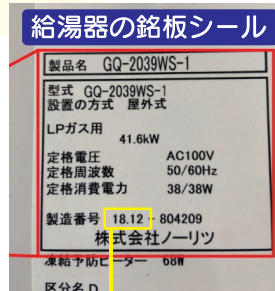


エネファームやハイブリッド給湯器の導入に際して、最大20万円まで国が負担してくれる事業です。給湯器の交換をお考えの方はお早めにご相談ください！

冬は給湯器のトラブルが増える(特に製造から10年経過した給湯器)



夏に比べて、寒い冬は給湯器に大きな負荷がかかります。お湯を出す時間も長くなりますし、水道の温度も低いからです。お湯にするまでたくさん温度を上げなければいけません。特に製造から10年が経過した給湯器は寿命が近いのでたくさんお湯を使いたい冬に突然壊れることがあります。



2018年12月製造

給湯器の交換は今がチャンスです！

紙上展示会

経年劣化と補助金のタイミング。ご自宅の給湯器が「そろそろ」と気になったら、まずはご相談ください！最適なご提案を致します！



WEB カタログはコチラから



窓リノベ 給湯器 ユニットバス 段差解消



補助金フル活用で、住み心地が一気に改善！

担当の中根です。

石岡市のT様邸で、窓のリフォームをきっかけとし、結果的に補助金をフル活用する形で行わせて頂いた事例をご紹介します。

T様邸はモダンで近代的な住宅ですが、窓の開口部が多く、夏・冬の断熱効果を高めたいとご要望されていました。

そこで住宅省エネ 2025 の補助金を使い内窓設置のリフォームを行いました。

住宅省エネ 2025 の話しをお客様とする中で、給湯器、浴室の改修、段差解消などにも補助金を活用することができると知ったお客様は、これを機にお住いの悩み事を一気に解決しようと決められました。

給湯器は高効率なエコジョーズへ。浴室はタカラのグランスパを導入。高断熱浴槽でかつ自動で浴槽を洗浄してくれるオートウォッシュ機能も付いています。(大変満足されたポイント)

他、節湯水栓の設置、浴室の段差解消などを実施させて頂き、お客様に大変満足頂きました。

前述の通り、補助金も残り少なくなって参りましたので、お悩みの方は気軽にまずはご相談ください。



- リプラス -
外窓の追加で
断熱効果が
大幅に改善！



イバセキまで
是非お問い合わせください♪
☎ 0120-41-2680

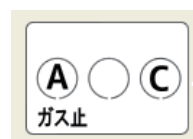


ガスメーターの復帰操作について

寒さも深まるこの時期。ガスが出ないとお問合せが急増します。

理由は、一度にたくさんガスを使うようになるため。ガスメーターはとても賢いので、ここ最近のガスの使い方を記憶しており、急に使いだすと異常と検知してガスを遮断します。右の絵の「ACガス止」の表示の場合、上記のケースが多く、お客さまにて復帰操作を頂けます。ガス器具のスイッチを全て切り、表示を確認したうえで、復帰ボタンを1度押してください。1分程でガスが使えるようになります。

その他の表示やガス臭い、復帰しないなどの場合、当社まで速やかにご連絡ください。



ガスメーター
復帰ボタン



茨城県石岡市若宮の地に古くから鎮座する『若宮八幡宮』。正式名称は「若宮八幡神社」で、地域の歴史と信仰を今に伝える由緒ある社である。三つの座が設けられており、祭神は誉田別命(応神天皇)、東座が息長足姫尊(神功皇后)、西座は姫大神(比売大神)である。社伝によれば、神亀5年(728)に建立されたと伝えられ、社宝は法華経一卷金文字である。永保2年(1082)通称八幡八幡太郎「源義家」が奥州征討の折、朝敵退散を祈願し、かぶら矢を奉納したと伝えられる。鎮守として村落の守り神となり農耕や安産、災厄除けなど生活に密着した祭祀が受け継がれてきた。平安から鎌倉期にかけて武家の崇敬を集め、源義家や近隣の有力者にまつわる伝承が残されていることから、地域の軍事・政治的動向と結びついた信仰の対象であった。



若宮八幡宮の拝殿の様子

ふるさと紀行

石岡市『若宮八幡宮』

中世には地元豪族や宗教勢力との関係を通じて社領や祭祀の維持が図られ、境内に残る古い石造物や供養塔は当時の人々の信仰と生活を示す手がかりとなっている。天正18年(1590)に佐竹義宣が府中を攻略した際に焼失したが、慶長7年(1602)、別当福蔵坊と伝える僧が拝殿を建立する。また寛永4年(1627)には、皆川山城守が拝殿建立。寛文5年(1665)領主松平伊勢守が本殿拝殿を修造。そして、元文年間(1760~1769)の頃、八幡神社を管理していた天台宗東耀寺末の若宮山八幡寺別当欽長法印が改築している。戦国の動乱期には周辺での戦火や社会変動の影響を受け一時的に社殿が損なわれた記録があるが、江戸時代に入ると藩政の安定とともに領主や農村共同体の手によって再建・修復が進められ、農村年中行事の中心としての位置を確立していった。

若宮八幡宮は、地元では「八幡様」と呼ばれ、毎年10月第二日曜日に「若宮八幡宮例大祭」が執り行われる。本殿は市指定有形文化財となっている。境内と営まれる年中行事は、地域の歴史を次世代へ伝える生きた場として伝承されている。